

2023年11月16日  
平田機工株式会社

## 平田機工株式会社 2023年度第2四半期決算説明会 質疑応答（サマリー）

（2023年11月16日開催）

### 【当社側説明者】

代表取締役社長	平田 雄一郎
取締役専務執行役員 事業本部長	前田 繁
取締役執行役員 研究開発本部長	西村 茂春
取締役執行役員 管理本部長	二宮 秀樹
執行役員 管理本部 戦略・コーポレートコミュニケーション担当	首藤 道信
管理本部 経理部長	西田 健一
管理本部 コーポレートコミュニケーション部長	松園 健也

### 【説明内容】

- ・2023年度第2四半期業績（連結）
- ・2023年度通期業績見通し（連結）
- ・中期経営計画（2022～2024年度）進捗報告

### 【質疑応答】

Q1	<b>通期業績予想に対して、上期の売上高の進捗率は低く、営業利益の進捗率は高くなっているが、計画と比較してどのように推移したのか。</b>  →決算説明資料 p11
A	上期の売上高は、顧客都合による計画遅れなどにより、期初の想定よりも若干の下振れとなった。現状、豊富な受注残高を確保できており、下期は挽回できる見込み。上期の営業利益は、予定していた研究開発投資、システム関連投資が下期に後ろ倒しとなったことで、期初の想定を上回った。
Q2	<b>通期業績予想に変更はないとのことであるが、下期の売上高は上期と比較して150億円程度の増収見通しである一方、営業利益は8.2億円の減益予想としている。この要因は何か。</b>  →決算説明資料 p11
A	下期は、上期に発生しなかった研究開発投資、システム関連投資や、工場の修繕費用および七城工場の増築費用など、管理間接部門の費用増が見込まれることによる。

Q3	<p><b>研究開発費について、発生が下期に先送りされるのとことであるが、通期では当初予算通りの発生を見込むのか。</b></p> <p style="text-align: right;">→決算説明資料 p11・13</p>
A	<p>契約相手国の都合により費用発生が下期にずれ込むこととなったが、現在、今期中の費用発生に向け相手国と協議中である。</p> <p>また、研究開発ラボへの装置導入も9割方完了しており、今期の研究開発投資は計画通り実行される見込み。</p>
Q4	<p><b>自動車の下期以降の受注の見通し、および引き合いの状況について知りたい。</b></p>
A	<p>現在も継続的に引き合いをいただいているが生産負荷が高く、採算性の高い案件を優先的に受注している。米国のEV需要は若干停滞するとの見方もあるが、国内は投資が加速しており、今後も引き合いは続くと考えている。</p> <p>ガソリン車の生産設備に比べEVは投資金額が大きくなる傾向にあることが特徴である。</p>
Q5	<p><b>七城工場稼働について前倒しとあるが、いつ頃から生産能力の向上に貢献するのか。</b></p> <p style="text-align: right;">→決算説明資料 p29</p>
A	<p>当初2024年7月の稼働を計画していたが、現時点では2月から段階的に稼働を見込んでおり、生産能力拡大を期待している。</p>
Q6	<p><b>有機ELの受注について、G8を受注したものと推測するが、ディスプレイメーカーからの推定発注額の割には御社の受注規模が小さいと感じる。今後も継続した受注が期待できるのか。</b></p> <p style="text-align: right;">→決算説明資料 p7</p>
A	<p>詳細の説明は控えるが、G8案件は受注済である。これがG8の最初の受注であり、次の引き合いもある。当社にとっては新しい領域であるため、確実な利益確保に努めたい。</p>
Q7	<p><b>決算説明資料では半導体市場が在庫調整局面との記載があるが、御社の半導体分野の今後の見通しを聞きたい。</b></p> <p style="text-align: right;">→決算説明資料 p11</p>
A	<p>大手半導体デバイスメーカー向け案件に一部停滞はあるものの、レガシー半導体については引き続き引き合いもあり、順調に受注できている。</p>

Q8	<b>今後の設備投資計画を聞きたい。</b>  →決算説明資料 p24
A	受注量の拡大を見据え設備投資計画を立てている。EV や半導体分野が引き続き好調なため、今後の受注状況を見ながら投資を検討したい。その際は国内に限らず多面的に検討したい。
Q9	<b>決算説明資料で半導体のウェーハ搬送装置以外の分野で案件のキャンセルありとの記載があったが、どの分野で発生したのか。また、今期業績への影響度はどの程度か。</b>  →決算説明資料 p12
A	顧客の計画変更によるキャンセルで、通期業績に与える影響はない。その他詳細については回答を控えたい。
Q10	<b>中計の進捗の中に、中国の子会社による現地ライセンス生産に関する記載があるが、中国向けの受注・売上の占める割合はどの程度か。後発参入としての戦略についても聞きたい。</b>  →決算説明資料 p18
A	受注・売上比率等の詳細については回答を控えたい。中国市場向け製品はこれまで日本で生産し輸出していたが、今後は地産地消を拡大する方針である。
Q11	<b>米国の一部自動車メーカーが、EV の中期的な投資計画の先延ばしを発表しているが影響はあるか。</b>
A	当社が取り扱う自動車関連設備は受注から納品までが年単位に及ぶことも多いため、今後の設備投資動向については顧客と緊密に情報交換を行っている。現時点でご指摘のような影響はないと認識している。
Q12	<b>自動車関連では EDU に加え IGBT、インバーター関連の受注も増えていると思われるが、その背景を聞きたい。</b>  →決算説明資料 p7
A	IGBT やインバーターは EV に欠かせないキーコンポーネントであるため、EV の生産拡大に合わせて今後も物量の増加が見込まれる。

以上